



— 節分祭・豆撒きの儀 — 平成22・2・3

阿蘇神社 <http://asojinja.jp/>

# 社報 あそみや

平成22年3月15日

第48号

発行所

阿蘇神社社務所

多良見町化屋862

☎ 0957-43-5235

## 品格のつもり

阿蘇神社

宮司 大島 大明

大相撲初場所で優勝した横綱朝青龍が引退した。貴乃花・武藏丸の両横綱が引退した後の角界を支え、優勝も二十五回、大横綱として名を残すほどの強さでしたが、残念ながら常に横綱としての品格が問題視されてきました。

品格といつても、人として共通の品格もあれば、役職等による品格もあり基準も異なるようです。品格を養うためと言うには少々大袈裟ですが「つもり違い十ヶ条」

を並べてみました。自戒のつもりで読んでいます。

- 一、高いつもりで低いのは教養
- 二、低いつもりで高いのは気位
- 三、深いつもりで浅いのは知識
- 四、浅いつもりで深いのは欲
- 五、厚いつもりで薄いのは人情
- 六、薄いつもりで厚いのは面の皮
- 七、強いつもりで弱いのは根性
- 八、弱いつもりで強いのは我
- 九、多いつもりで少ないのは分別
- 十、少ないつもりで多いのは無駄

## 敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、  
明き清きまことを以て祭祀にいそむこと  
一、世のため人のために奉仕し、  
神のみこともちとして世をつくり固め成すこと  
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、  
国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

## 恒例 節分祭恙なく終了!



【写真①】



【写真②】



【写真③】



【写真④】

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日に斎行されました。前日から当日の昼過ぎまで雨が降りましたが、夕方からは天候も回復しました。

午後四時に前田信太郎総代会長が節分祭諸行事の開会を宣言しました。本殿での祭典は午後五時に開始され、宮司により氏子の一年間の開運招福を祈る祝詞が奏上されました。引き続き境内の斎場では旧年中の御神札・御守・熊手などを焚き上げる火焼神事(ほやきしんじ)が行われ、総代の手で火が点けられました。

今年の豆撒き行事には、寅(とら)歳生れの年男・年女二十六名が参

加され、三回に分かれて境内の特設舞台から豆撒き【写真②】を行いました。一回目の豆撒きには、V・ファーレン長崎の井筒和之選手と宮尾勇輝選手も袴に身を正して参加しました。豆撒き後には、V・ファーレン長崎の小嶺忠敏社長が挨拶、井筒・宮尾両選手も再度舞台に上がり【写真③】。今年の抱負とチームの躍進を熱く語っていました。V・ファーレン長崎は事務所を市布に構え、多良見町商工会にも加入しました。まさに地元に密着したチームであるといえます。精一杯応援したいと思います。

今年は平日で、しかもお昼過ぎの行事を終しました。節分の全ての行事を終しました。V・ファーレン長崎は事務所を市布に構え、多良見町商工会にも加入しました。まさに地元に密着したチームであるといえます。精一杯応援したいと思います。

今年は平日で、しかもお昼過ぎの行事を終しました。V・ファーレン長崎は事務所を市布に構え、多良見町商工会にも加入しました。まさに地元に密着したチームであるといえます。精一杯応援したいと思います。

まで雨が降り、参加者の出足が少々鈍かつたようですが、豆撒きが始まると、天候も回復し境内は福を求める参拝者で埋まりました。また境内には多良見町商工会の青年部、婦人部などの出店があり【写真④】大いに賑わいました。

三回目の豆撒き終了後には、法被姿の神社総代が舞台上に上がり、一年間の幸運を願つて、三六五袋の紅白の餅撒きを行い、節分の全ての行事を終しました。

節分行事を行うに当たり、準備から後片付けまで総代会・商工会など多くの方にご協力ご支援をいたきました。また福豆の景品の提供、及び協賛金を賜った商店・

商社は以下の通りです。ご厚志に感謝し、御芳名を記し御札を申し上げます。

◇節分祭景品提供商社芳名◇

《順不同・敬称略》

井手陶器店、十善商店、(有)三伸電機、多良見郵便局、寺尾電器サービス、シユーズのあづま屋、ポーラ化粧品、たちばな信用金庫、森田薬局、ファッショングハウスマツヤ、十八銀行、喜々津美容室、山中板金、(有)あづま屋、阿蘇神社総代会、親和銀行、(有)モールアム、㈱タナカ自動車、V・ファーレン長崎、阿蘇神社、㈱森開発、㈱森住宅、もろおか青果、スーパーあづまや、事務機のミヤジマ、喜々津新聞販売センター、商工会青年部、(有)みのる、(有)南部建設工業、普賢寿司、スナックいちごや、(有)みづほ、やきとりかつこちゃん、(有)みのる、(有)南部建設工業、(有)モリ建設産業、長崎産機サービス、長崎スクラップセンター、もり玩具店、(有)松田メンテナンス工業、商工会女性部、(有)喜々津ホーム、(有)後田塗料商事、㈱溝上建装、㈱石橋工業、(有)多良見碎石、㈱ナカムラ、大草自動車工場、カーショップジーク

## ◆節分祭特別協賛商社芳名◆

《順不同・敬称略》

- \* 関山祥一（長崎市） \* 有森商会
- \* 株構上建設 \* 共栄機械工事㈱
- \* 九州支店 \* アルファ印刷 \* 総合アルミ \* たか動物病院 \* まだ小児科内科医院 \* 勝唐草
- \* 勝石橋工業 \* 徳永自動車
- \* 黒木建設㈱ \* 松屋眼科医院
- \* 大石ボディ \* 喜々津美容室
- \* 松尾装業 \* 喜々津カントリー俱樂部 \* 山口歯科医院 \* 勝アヒ
- 良見工場 \* やの皮ふ科 \* 竹迫整形外科 \* 有喜々津青果 \* 慈惠病院 \* 有南部建設工業

## 平成二十二年紀元祭を斎行！

二月十一日は神武天皇が奈良県橿原の宮に即位された記念の日であり、今年は皇紀二六七〇年に当たります。

当日は生憎の雨となりましたが、多数の参列者のもと定刻に祭典が開始されました。先ず宮司が先人の建国の苦労を偲ぶとともに皇室の御榮と氏子崇敬者を始めすべての国民の幸を祈る祝詞を奏上しました。引き続き喜々津邦楽愛好会員（吉見哲山会長）四名により尺

八の奉納演奏が行われました。先ず「越天樂」次に「八千代」の二曲を神前に奉奏、心地よい尺八の調べに暫し酔いしれました。次に尺八の伴奏で「紀元節の歌」を参列者全員で斎唱しました。

前田総代会長、小川評議員会監事に続き参列者が玉串を捧げ拝札を行い、祭典を終了しました。祭典後、いさはやビデオクラブ市村信彦氏より節分祭時のDVDが寄贈されました。

八の奉納演奏が行われました。先ず「越天樂」次に「八千代」の二曲を神前に奉奏、心地よい尺八の調べに暫し酔いしれました。次に尺八の伴奏で「紀元節の歌」を参列者全員で斎唱しました。

前田総代会長、小川評議員会監事に続き参列者が玉串を捧げ拝札を行い、祭典を終了しました。祭典後、いさはやビデオクラブ市村信彦氏より節分祭時のDVDが寄贈されました。

八の奉納演奏が行われました。先ず「越天樂」次に「八千代」の二曲を神前に奉奏、心地よい尺八の調べに暫し酔いしれました。次に尺八の伴奏で「紀元節の歌」を参列者全員で斎唱しました。

前田総代会長、小川評議員会監事に続き参列者が玉串を捧げ拝札を行い、祭典を終了しました。祭典後、いさはやビデオクラブ市村信彦氏より節分祭時のDVDが寄贈されました。

吉野企画建設 \* 有雄苑 \* 有もろおか薬品 \* 有あづま屋 \* 西部ガスエネルギー勝長崎支店 \* 勝小島工作所 \* 有後田塗料商事 \* 中村医院 \* 山崎活魚店 \* 犬尾胃腸科外科医院 \* 有カーセンター・エー・ピー \* 有喜々津新開販売センター \* やまぐち住建 \* 有多良見碎石 \* 有オートショッピングセンターチ・徳永建設㈱ \* 濱田心緑園以上

・ 奉獻酒を賜りました。ご芳名を記しお札を申し上げます。  
 ◇初穂料◇《敬称略・順不同》  
 \* 有森商会 森 誠司 \* 松本 淳 \* たちはな信用金庫 中島特博 \* 白石幸男 \* 喜々津邦楽愛好会 \* 大久保治賢 \* 松崎章雄 \* 高内龍士 \* 松山弥八 \* 山中征二 \* 吉野 徹 \* 松尾清人 \* 前田信太郎 \* 小川 晃 \* 西川 衡 \* 山田豊明 \* 内田克夫 \* 溝上盛夫 \* 前川 功 \* 宮嶋 博 ◇ 献 酒 ◇ \* 十八銀行多良見町支店支店長 松永徳治 \* 親和銀行多良見支店長 前田圭介 ◇ 節分祭記録 DVD いさはやビデオクラブ市村信彦 以上

\* 勝森住宅 \* スナックアロン

\* 大久保クリニック \* 勝森開発

\* 有吉川金属商事 \* 有多良見住宅 \* 勝ニチボ一長崎支店 \* 有吉野企画建設 \* 有雄苑 \* 有もろおか薬品 \* 有あづま屋 \* 西部ガスエネルギー勝長崎支店 \* 勝小島工作所 \* 有後田塗料商事 \* 中村医院 \* 山崎活魚店 \* 犬尾胃腸科外科医院 \* 有カーセン

ター・エー・ピー \* 有喜々津新開販売センター \* やまぐち住建 \* 有多良見碎石 \* 有オートショッピングセンターチ・徳永建設㈱ \* 濱田心緑園以上



— 尺八の奉納演奏 —

## § 総代会便り §

平成二十一年度に行つた総代会の主な事業をお知らせします。

①注連縄と門松作り

平成二十一年に開始した総代会の活動で神社総代・評議員及び青年部など多くの方に参加をいたさ

毎年行われています。

②初詣参拝者へ御神酒の授与

総代は大晦日に集合、篝火を焚き、元旦の午前零時に樽酒の鏡割りを行つて、初詣参拝者へ御神酒

を注いでいます。

③節分祭への奉仕

二月の節分祭では町内各所へ節

分の旗を立て、境内では祭場など

の準備をします。節分祭当日は火

焼神事を担当します。

この他にも境内や杜の管理、補修などに努めています。

☆パズル当選者☆

前号（四七号）のパズルの答えは「キキツ」（喜々津）でした。多数の応募有難うございました。抽選の結果、当選者は以下の通りです。

永野申一（化屋）／福田協子（市布）／西村英子（化屋）／久住昌洋子（シサイド）／竹下翔太（市布）

以上

## 平成二十二年「歌会始」御題「光」

御  
製

本漏れ日の光を受けて落ち葉敷く  
皇后陛下御歌 小道の真中草育みたり  
君とゆき道の果たての遠白く  
夕暮れてなほ光あるらし

新春恒例の「歌会始」の御儀が  
一月十四日午前皇居の正殿「松の間」  
でおこなわれました。今年は  
国内外から二三、三四六首の詠進  
歌が寄せられたそうです。

### 二、詠進要項

①詠進歌は、お題を詠み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

②用紙は、半紙(習字用の半紙)とし、毛筆で自書して下さい。

③病気又は身体障害のため自筆す  
ることができない場合は以下によ  
ることができます。

◎代筆・ワープロやパソコンなど  
を使用して印字・点字など

宮中の新年行事の最後を締めく  
くる「歌会始」は、古くは「歌御  
会」といい、鎌倉時代中期龜山天  
皇の文永四年(一八六九年)一月十  
五日に「内裏御会始」が行われた  
とあります。一般の詠進が認められ  
たのは明治七年、特に優れたもの  
の選歌として披講されるようにな  
つたのが明治十二年、現在のよ  
うな「歌会始」の形に定着したの  
は、昭和三年からといわれます。  
皇室と国民を繋ぐ「歌会始」に  
参加してみませんか。

来年の歌会始詠進要項(抜粋)

一、お題 「葉」

お題は「葉」ですが、「葉」の  
文字を使用していれば「若葉」「落葉」

くもとの職業を書いて下さい。  
なお主婦の場合は、単に「主  
婦」と書いても差し支えない。

### 三、注意事項

次の場合には、失格となります。

①お題を読み込んでいない場合

②一人で二首以上詠進した場合

③詠進歌が既に発表された短歌と  
同一又は著しく類似する場合

④詠進歌を歌会始の行われる以前  
に、新聞、雑誌その他の出版物、  
年賀状等により発表した場合

⑤二の③に記した代筆の理由書を  
添えた場合を除き、同筆と認め  
られるすべての詠進歌

⑥住所、氏名、生年月日、職業を  
書いてないもの。その他この詠  
進要項によらない場合

◇奉納御礼◇

一、境内用玉砂利  
(有多良見碎石 石場)

一、鏡餅一重・初穂料

一、玄米三〇キロ

一、初穂料  
(前山 弘 殿)

一、徳永建設  
(徳永 孝次 殿)

一、松尾 興一郎 殿

一、草野 敏 殿

一、堤 富男 殿

一、太田 商店 殿

一、喜々津代行車 殿

一、前田 唯 殿

一、エイ子 殿

一、記録DVD(節分祭・紀元祭)

いさはやビデオクラブ

一、複製写真集  
(市村 信彦 殿)

一冊  
(皇紀二千六百一年銃後の郷土)

長崎県知事選挙が行われ、中村

法道氏が当選した。向かい風の中

での県政の舵取りに期待をしたい

所、氏名を書き返信用切手を貼つ

て下さい。(以前に職業に就

いたことがある場合は、なるべく具体的に

内庁式部職あてに、郵便番号、住

所、氏名を書き返信用切手を貼つ

た封筒を添えて、九月二十日まで

に問い合わせて下さい。

▼春は卒業・退職と別れの季節で  
もあるが、新たな出会いの時期で  
もある。すばらしい出会いがある  
ことを祈ります。